

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2024 年 第 10 週（3月4日～3月10日）

## ＜全数把握対象疾患の患者情報＞

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	2 人 類型 患者 1 人、 無症状病原体保有者 1 人 血清型 O157 1 人、O128 1 人
四類感染症 レジオネラ症	5 人 病型 肺炎型 3 人、 ポンティアック熱型 1 人、 無症状病原体保有者 1 人
五類感染症 アメーバ赤痢	2 人 病型 腸管アメーバ症 1 人、 腸管外アメーバ症 1 人
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2 人 菌種 <i>Enterobacter</i> sp. 1 人、 <i>Klebsiella</i> sp. 1 人
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 人 血清群 A 群 1 人、C 群 1 人、 G 群 2 人
梅毒	16 人 病型 早期顕症Ⅰ期 8 人、 早期顕症Ⅱ期 3 人、 無症状病原体保有者 5 人
破傷風	1 人

## ＜新型コロナウイルス感染症発生状況＞

新型コロナウイルス感染症(6.85→6.67:図1)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、幸手(11.79)、坂戸(10.20)保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は47人(前週59人)であった。年齢階級別では、70歳以上が全体の70%であった。

## ＜定点把握対象疾患の患者情報＞

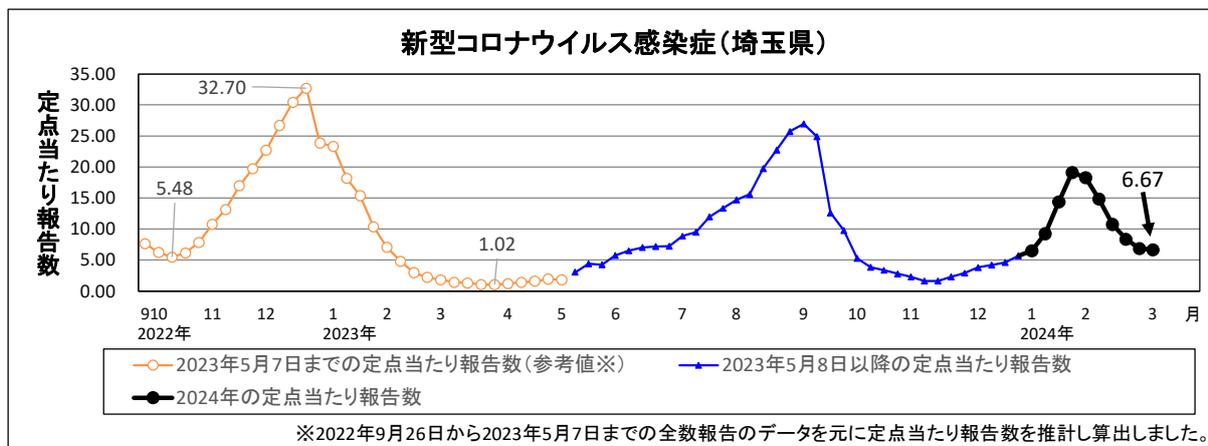
インフルエンザ(17.62→19.73:図2-1~4)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、鴻巣(28.21)保健所管内からの報告が多く、春日部(14.10→27.40)保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では、7~9歳の報告が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(4.21→4.70:図3-1~2)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加し、高い水準にある。保健所別では、春日部(12.67)、幸手(11.89)、南部(10.00)保健所管内からの報告が引き続き多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎1人、流行性角結膜炎14人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎2人、感染性胃腸炎(ロタウイルス)1人、インフルエンザ(入院)(図2-4)8人(前週9人)の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL:<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧いただけます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第10週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報（第10週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図2-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

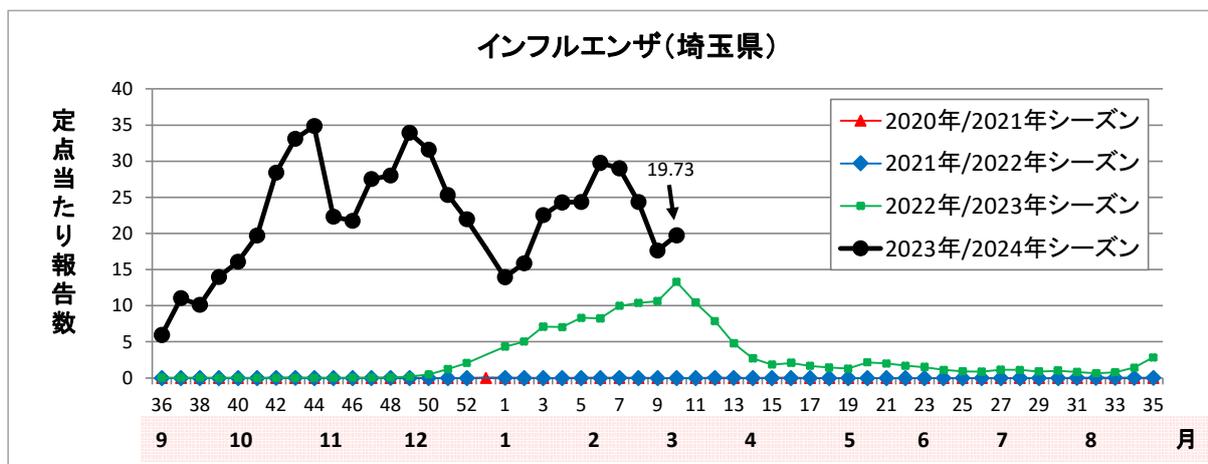
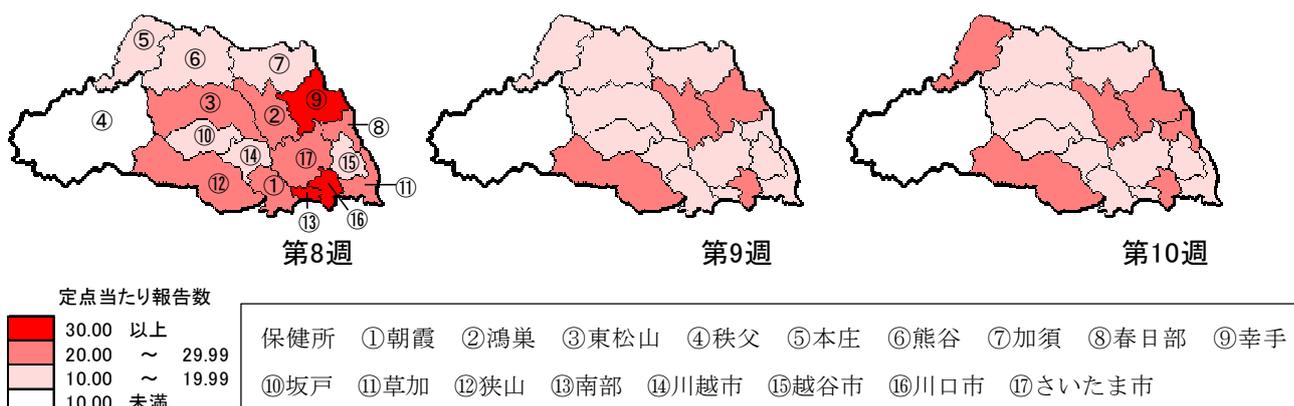


図2-2 インフルエンザの保健所別流行状況の推移（2024年第8週～第10週）





<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3-1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

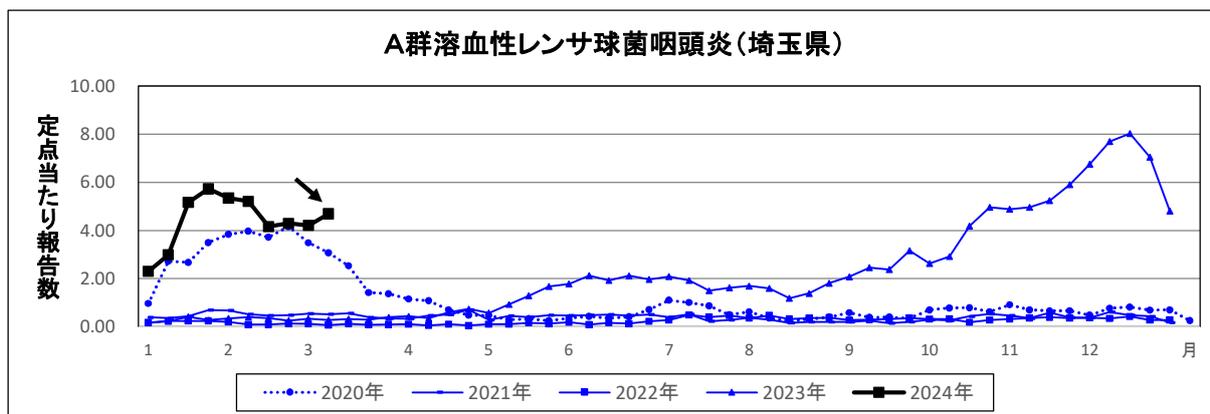
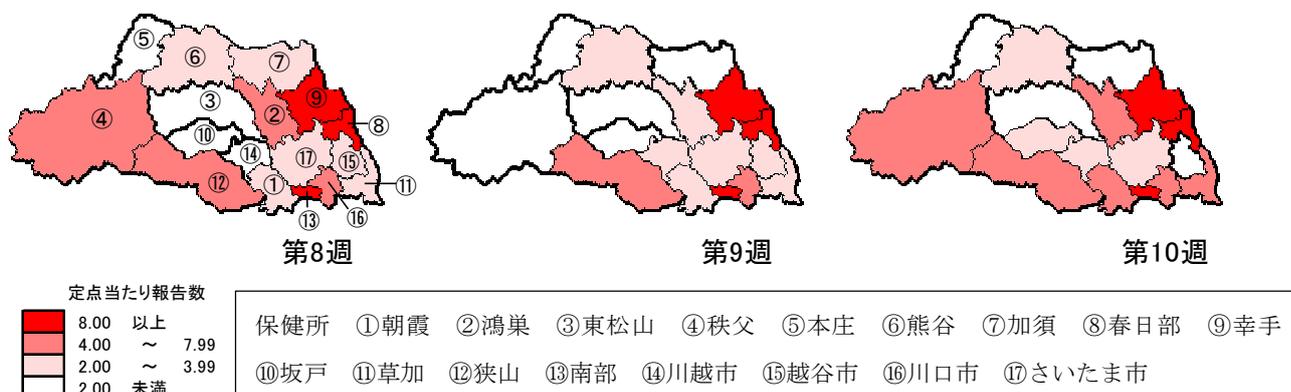


図 3-2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別流行状況の推移 (2024年第8週～第10週)



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第10週)

(2024年3月12日 15:45集計)

	今週 届出	累 計	2023年 累計		今週 届出	累 計	2023年 累計
<b>一類感染症</b>							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
<b>二類感染症</b>							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*1	-	-		鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
<b>三類感染症</b>							
コレラ				腸チフス			3
細菌性赤痢			9	パラチフス			1
腸管出血性大腸菌感染症	2	20	167				
<b>四類感染症</b>							
E型肝炎		10	43	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎		2	3	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱		1	
エムポックス			5	日本脳炎			
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病			1	Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			
キャサヌル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			2
重症熱性血小板減少症候群				野兎病			
腎症候性出血熱				ライム病			1
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症	5	14	112
つつが虫病			3	レプトスピラ症			
デング熱		1	9	ロッキー山紅斑熱			
<b>五類感染症</b>							
アメーバ赤痢	2	6	28	侵襲性肺炎球菌感染症		17	80
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		2	7	水痘(入院例に限る)			13
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	18	71	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			6	梅毒	16	83	462
急性脳炎		9	39	播種性クリプトコックス症		1	7
クリプトスポリジウム症				破傷風	1	1	4
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	38	64	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			2
後天性免疫不全症候群		3	32	百日咳		10	79
ジアルジア症			3	風しん			1
侵襲性インフルエンザ*菌感染症		4	9	麻しん			
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第10週

3月4日~3月10日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ #1	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
全 県	報告数	5,150	1,741	40	72	771	955	40	5	1	29	1	4	1	14	-	-	2	-	1	8	47
	定点当たり	19.73	6.67	0.24	0.44	4.70	5.82	0.24	0.03	0.01	0.18	0.01	0.02	0.02	0.33	-	-	0.17	-	0.08	0.67	3.92
朝 霞	報告数	458	140	-	7	79	76	3	-	-	8	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	9
	定点当たり	19.91	6.09	-	0.47	5.27	5.07	0.20	-	-	0.53	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	9.00
鴻 巣	報告数	536	176	10	4	48	83	-	-	-	1	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	28.21	9.26	0.83	0.33	4.00	6.92	-	-	-	0.08	-	0.08	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	131	34	-	1	7	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	16.38	4.25	-	0.20	1.40	4.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
秩 父	報告数	47	20	1	1	13	1	1	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	9.40	4.00	0.33	0.33	4.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	1.00	-
本 庄	報告数	160	43	1	1	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	22.86	6.14	0.25	0.25	0.50	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
熊 谷	報告数	179	80	4	5	31	49	-	1	-	2	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	3
	定点当たり	13.77	6.15	0.50	0.63	3.88	6.13	-	0.13	-	0.25	0.13	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	3.00
加 須	報告数	141	53	-	4	11	5	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	9
	定点当たり	14.10	5.30	-	0.67	1.83	0.83	0.17	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	9.00
春 日 部	報告数	274	94	3	2	76	52	6	-	-	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	27.40	9.40	0.50	0.33	12.67	8.67	1.00	-	-	0.33	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	339	165	5	21	107	20	6	-	-	2	-	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	24.21	11.79	0.56	2.33	11.89	2.22	0.67	-	-	0.22	-	0.11	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	154	102	-	-	12	42	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
	定点当たり	15.40	10.20	-	-	2.00	7.00	0.17	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.00
草 加	報告数	283	163	-	2	55	95	3	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	14.89	8.58	-	0.17	4.58	7.92	0.25	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	614	184	1	6	97	65	7	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	5	2
	定点当たり	24.56	7.36	0.06	0.38	6.06	4.06	0.44	0.06	-	-	-	-	0.20	0.40	-	-	-	-	-	5.00	2.00
南 部	報告数	154	74	1	5	50	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7
	定点当たり	19.25	9.25	0.20	1.00	10.00	8.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	7.00
川 越 市	報告数	169	47	-	-	23	23	1	-	-	-	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	12.07	3.36	-	-	2.88	2.88	0.13	-	-	-	-	0.13	-	-	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	195	78	1	-	12	46	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	15.00	6.00	0.13	-	1.50	5.75	-	0.13	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
川 口 市	報告数	517	127	1	2	59	126	1	1	-	3	-	1	-	5	-	-	1	-	-	-	2
	定点当たり	25.85	6.35	0.08	0.15	4.54	9.69	0.08	0.08	-	0.23	-	0.08	-	1.25	-	-	1.00	-	-	-	2.00
さいたま市	報告数	799	161	12	11	89	206	8	1	1	9	-	-	-	2	-	-	-	-	1	2	5
	定点当たり	18.58	3.74	0.43	0.39	3.18	7.36	0.29	0.04	0.04	0.32	-	-	-	0.22	-	-	-	-	1.00	2.00	5.00

( - : 0.00 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

3月

12日

13:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第10週

3月4日～3月10日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	5,150	5	19	76	109	122	197	274	360	541	538	528	1,537	284	145	221	127	34	20	8	5
新型コロナウイルス感染症	1,741	17	32	55	40	30	42	29	41	28	32	24	143	85	166	183	191	222	153	126	102
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	40	4	8	15	7	2	2	-	-	2	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	72	1	-	12	10	12	7	8	11	3	4	2	2	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	771	-	1	8	38	47	73	96	92	88	90	62	136	5	35						
感染性胃腸炎	955	4	37	75	90	72	88	98	82	70	67	62	111	7	92						
水痘	40	1	1	1	1	1	-	3	1	6	3	10	11	1	-						
手足口病	5	-	-	1	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	29	2	9	9	5	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	4	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	14	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	3	1	3	2	1	2	-	-	-
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	8	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	4				
新型コロナウイルス感染症(入院)	47	1	1	-	-	-	-	-	3	-	-	1	3	1	1	3	33				

※ 表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第8週 (2月19日～2月25日)

令和6年3月13日

## <全国情報>

**インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:** インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は石川県(24.94)、埼玉県(24.35)、北海道(24.22)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は349例と前週と比較して減少した。都道府県別では45都道府県から報告があり、年齢別では0歳(24例)、1～9歳(152例)、10代(67例)、20代(4例)、30代(7例)、40代(6例)、50代(4例)、60代(17例)、70代(19例)、80歳以上(49例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮城県(12.03)、茨城県(11.70)、岩手県(11.57)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は2,770例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(80例)、1～9歳(84例)、10代(28例)、20代(35例)、30代(50例)、40代(74例)、50代(135例)、60代(280例)、70代(667例)、80歳以上(1,337例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):**RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(0.75)、大阪府(0.66)、群馬県(0.60)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第51週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(4.10)、新潟県(2.27)、北海道(2.20)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山形県(8.71)、北海道(7.86)、鳥取県(7.26)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は石川県(11.86)、宮崎県(10.06)、富山県(9.38)である。手足口病の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福井県(1.64)、香川県(1.14)、鹿児島県(0.78)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は滋賀県(0.06)、東京都(0.05)、神奈川県(0.05)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は高知県(0.19)、鹿児島県(0.18)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は沖縄県(0.13)、静岡県(0.08)である。

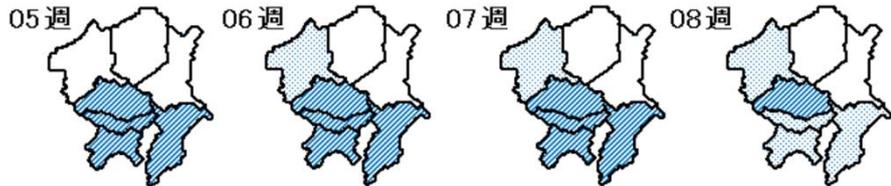
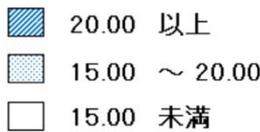
**基幹定点報告疾患:** マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は青森県(0.50)、福井県(0.33)、沖縄県(0.29)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。2都道府県から2例報告があり、年齢別では1～4歳(1例)、10代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第8週(2月19日～2月25日): 通巻第26巻 第8号 より

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、埼玉県(24.35)からの報告が多い。

### インフルエンザ



2024年 08週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	82,741	28,415	1,440	909	1,600	6,331	3,976	6,964	7,195
	定点当たり	16.76	18.63	12.00	11.96	19.05	24.35	19.68	16.74	19.60
新型コロナウイルス感染症	報告数	39,124	11,323	1,404	790	739	2,169	1,780	2,203	2,238
	定点当たり	7.92	7.42	11.70	10.39	8.80	8.34	8.81	5.30	6.10
RSウイルス感染症	報告数	658	161	6	13	32	46	11	31	22
	定点当たり	0.21	0.17	0.08	0.27	0.60	0.28	0.09	0.12	0.10
咽頭結膜熱	報告数	2,640	444	37	28	45	106	77	77	74
	定点当たり	0.84	0.46	0.49	0.58	0.85	0.65	0.62	0.29	0.32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	11,561	3,393	338	138	174	701	623	846	573
	定点当たり	3.69	3.55	4.51	2.88	3.28	4.30	4.98	3.23	2.48
感染性胃腸炎	報告数	17,106	4,869	374	123	284	1,040	649	1,492	907
	定点当たり	5.46	5.09	4.99	2.56	5.36	6.38	5.19	5.69	3.93
水痘	報告数	399	166	6	3	8	41	16	65	27
	定点当たり	0.13	0.17	0.08	0.06	0.15	0.25	0.13	0.25	0.12
手足口病	報告数	591	41	1	3	10	13	-	10	4
	定点当たり	0.19	0.04	0.01	0.06	0.19	0.08	-	0.04	0.02
伝染性紅斑	報告数	55	31	-	1	1	1	2	14	12
	定点当たり	0.02	0.03	-	0.02	0.02	0.01	0.02	0.05	0.05
突発性発しん	報告数	591	173	9	7	13	30	31	41	42
	定点当たり	0.19	0.18	0.12	0.15	0.25	0.18	0.25	0.16	0.18
ヘルパンギーナ	報告数	93	11	1	2	2	1	2	1	2
	定点当たり	0.03	0.01	0.01	0.04	0.04	0.01	0.02	0.00	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	88	35	2	2	2	10	7	8	4
	定点当たり	0.03	0.04	0.03	0.04	0.04	0.06	0.06	0.03	0.02
急性出血性結膜炎	報告数	4	3	1	-	-	1	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	0.06	-	-	0.02	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	293	91	11	7	6	11	10	7	39
	定点当たり	0.42	0.44	0.65	0.58	0.43	0.26	0.29	0.18	0.78
細菌性髄膜炎 #2	報告数	5	1	-	-	1	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	0.11	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	8	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.08	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	26	5	2	1	-	1	-	-	1
	定点当たり	0.05	0.06	0.15	0.14	-	0.08	-	-	0.08
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	2	1	-	-	1	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	0.11	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

☆ この情報は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

## 今月のコメント

2月に採取されたインフルエンザ検体は69検体で、検査が終了した40検体から、B型（ビクトリア系統）が30件、AH3亜型が7件、AH1pdm09亜型が2件検出されました。前月と比較して、インフルエンザウイルスが検出された検体のうち、B型（ビクトリア系統）の割合（44%→77%）が増加しました。

## 細菌検出状況

令和6年2月29日現在

## 三類感染症

臨床診断名	病原体名	分離月			備考(2月分)
		1月	2月	3月	
腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌O157	4	4		H-(VT1&2):3、H-(VT2):1
	腸管出血性大腸菌O111	1			
	腸管出血性大腸菌その他	2	1		OUT:H-(VT1):1

令和6年2月29日現在

## 四類感染症

臨床診断名	病原体名	分離月		
		1月	2月	3月
レジオネラ症	Legionella spp.(LAMP陽性)	1		

令和6年2月29日現在

## 五類感染症(全数把握)

臨床診断名	病原体名	分離月			備考(2月分)
		1月	2月	3月	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症	<i>Klebsiella aerogenes</i>	3	1		
	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	2			
	<i>Enterobacter cloacae</i> complex	2			
	その他CRE	1	1		<i>Citrobacter freundii</i> complex:1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	A群レンサ球菌( <i>Streptococcus pyogenes</i> )	15	2		
	B群レンサ球菌( <i>Streptococcus agalactiae</i> )	1			
	G群レンサ球菌	1	2		<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i> :2

## ウイルス検出状況

## 全数把握対象疾患

臨床診断名	ウイルス	令和6年3月4日 現在(累計:令和6年1月~)			
		採取月 検体合計数	1月	2月	3月
E型肝炎	検体数	8	5		13
	E型肝炎	5	2		7
A型肝炎	検体数	3	2		5
	A型肝炎		3		3
エムボックス	検体数	1			1
デング熱	エムボックス				
	検体数	2			2
	デング	1			1

臨床診断名	ウイルス	令和6年3月4日 現在(累計:令和6年1月~)			
		採取月 検体合計数	1月	2月	3月
急性脳炎 (四類以外)	検体数	7	20		27
	アデノ 3	4	7		11
	検査中	2	6		8
風しん	検体数	3			3
	風しん				
麻疹	検体数		13		13
	麻疹				
	検査中		2*		2

\*麻疹、風しんウイルスは陰性です。

## 定点把握対象疾患

季節性インフルエンザ\*

令和6年3月4日 現在(累計:令和6年1月~)

臨床診断名	採取月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	その他のウイルス
		130	69											199	
インフルエンザ	検体数	130	69											199	新型コロナウイルス(11), ヒトメタニューモ(1), コロナ NL63(1)
	インフルエンザ AH1pdm09	20	2											22	
	インフルエンザ AH3	50	7											57	
	インフルエンザ B(ビクトリア)	55	30											85	
	検査中		29											29	

\*急性呼吸器感染症(病原体)サーベイランスの結果を含む。

五類定点把握対象疾患(季節性インフルエンザを除く)

令和6年3月4日 現在(累計:令和6年1月~)

臨床診断名	ウイルス <small>検体数 病原体別数</small>	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	その他のウイルス
		16	5											21	
咽頭結膜熱	検体数	1												1	
	アデノ 2														
	アデノ 3	1												1	
	アデノ 4														
感染性胃腸炎	検体数	8	4											12	ライノ(3)
	ノロ	5	2											7	
	サボ	2												2	
	アストロ														
	ロタ(A)														
	検査中		1											1	
手足口病	検体数	1												1	
	コクサッキー A4														
	コクサッキー A6														
	コクサッキー A16														
	エンテロ A71														
流行性角結膜炎	検体数	1												1	
	アデノ 3														
	アデノ 37	1												1	
	アデノ 54														
	アデノ 64														
	検査中														
無菌性髄膜炎	検体数	5	1											6	
	検査中	3												3	

## 急性呼吸器感染症(病原体)サーベイランス

臨床診断名	採取月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
		330	213											
インフルエンザ様疾患	検体数	330	213											543
	新型コロナウイルス	128	55											183
	インフルエンザ AH1pdm09	21	3											24
	インフルエンザ AH3	49	7											56
	インフルエンザ B(ビクトリア)	56	33											89
	ヒトメタニューモ	7	6											13
	RS	4	4											8
	コロナ NL63	3	10											13
	コロナ OC43	2												2
	コロナ 229E	2												2
	ライノ	9	9											18
	ボカ	1												1
	パラインフルエンザ 1		2											2
	アデノ	10	8											18
	検査中		70											70

この情報に関してのお問い合わせは、感染症情報センター(感染症疫学情報担当) 0493-59-9325へ

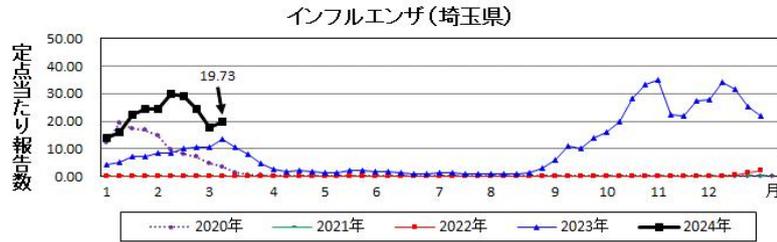
- 感染症発生動向調査 2024年**
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)

## 感染症の流行状況 2024年 第10週

2024年第10週（3月4日～3月10日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加しました。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



### 感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↑	★★	<a href="#">手足口病</a>	→	★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	→	—	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	↓	★★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↑	★★★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↓	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン